

10. 第5学年の場合の実施状況（抽出）

ここでは、第5学年の1学級を抽出して、学年的な視点から、形態や類型をみてみようとしたものである。なお調査校1校につき1学級の割合で抽出した。抽出は調査校の任意抽出によった。

(1) 当該学級担任以外の教師が担当する授業時数

第20表は、第5学年の抽出学級において、担任以外の教師（他学年・他学級の教師、および学級担任外の教師）によって担当されている週時数を示したものである。（週33時間中、クラブ活動を除外した週32時間を調査の対象にした。）

15時間以上実施している学校が、各規模それぞれ1校あるが、それ以外の学校は週13時間までの間に分布している。

小規模校では、週4時間担当を中心に、週2時間から週6時間の範囲で84%、また中規模校では、週4時間担当を中心に、週4時間から週9時間までの範囲で約80%、さらに大規模校では、週6時間担当を最高に週4時間から週6時間担当の範囲で約57%の学校が実施している。

週時数の25%以内（週8時間担当以内）に属する学校の割合は、小規模校で96%、中規模校約80%、大規模校約77%とその大部分が含まれている。

以上のことを時数的にみた場合は、けっして多いとはいえない。しかし協力教授の成否は、時数からだけではつかめない。

担当した教科指導が分立することなく、学級担任との協力関係や教師グループにおける分担協業が、組織的に行なわれる点にあらう。そのために、教員数やその専門性、学級数等の基本的な点はもちろん、担当教科の配当時数、持時間数、担当形態、交流の範囲、時間割作成等にまで配慮したうえで、可能な範囲で多くの時間を実施するという考え方が必要であらう。

(2) 担当の形態

ア. 形態

第20表の実施時間について、その担当形態を

第20表 当該学級担任外教師

による担当

（実施校・時数）

学 数		280 ^校	158 ^校	79 ^校
無 記 入		4.6 [%]	1.3 [%]	2.5 [%]
担当未実施校		5.7	1.3	0
担当実施校		89.7	97.4	97.5
担 当 実 施 校 の 週 当 り 時 数 内 訳	週1時間	2.4	0.7	0
	2	18.7	3.9	3.9
	3	12.0	5.2	2.6
	4	29.8	20.1	20.8
	(小計)	(62.9)	(29.9)	(27.3)
	5	13.5	17.5	11.7
	6	10.0	9.7	24.6
	7	5.6	10.4	5.2
	8	4.0	11.7	7.8
	(小計)	(33.1)	(49.4)	(49.3)
	9	0.4	10.4	9.1
	10	1.2	4.5	3.9
	11	1.6	1.9	2.6
	12	0.4	1.9	1.3
	(小計)	(3.6)	(18.8)	(16.9)
	13	.	1.4	5.2
	14	.	.	.
15	.	0.7	.	
16	0.4	.	.	
(小計)	(0.4)	(1.9)	(5.2)	
17以上	.	.	1.3	